

ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行. 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 467

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サンダリー	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ鷹の台作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
地域生活支援センター「あさやけ」	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
	小平元気村おがわ東 1 階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町 5-2-12-1 番地	TEL 042-313-2217



箱根神社でおみくじを引きました。さて、運勢はどうかな？

箱根旅行

あさやけ鷹の台作業所

仲間紹介

ひとりひとりが太陽



ゲームも仕事も楽しいよ

山之内 剛さん

(あさやけ第二作業所)



いつもおしゃやかな山之内さん。あれ、山之内さん、髪の毛白いですね。

「もう染めないよ。子どもに染めるなど言われたんだよ。ま、いい齡だし」

今、ゲームにはまってる。とくにミリオンゴッド。スロットマシンゲーム。本物のカジノのような設定になっていて、それが楽しい。

それに今は仕事も楽しいよ。二年ぐらい前から、腸の調子を崩して入院を繰り返したり、今度それがよくなったと思ったら、転んで肩の骨を折ったり。去年から今年にかけてはあまりいいことがなかったなあ。でも今は調子をだいぶ取り戻しているよ。左手に力が入らないけど、これから仕事しながらだんだん治してしていければと思う。

これからとにかく体力をつけたいので、今度のボーナスでは肉を食べに行きたい。(食べ過ぎは禁物！)霜降りのA五ラックかな(笑)

とにかく来年は早く骨折したところを治して、仕事の幅を広げたい。本当は、結束の仕事もやりたいけど、もう出来ないかな。結束は重たいものを持つからね。

もう入院しないように気をつけながら、またがんばるよ。

(聞き手 庄司)



地域生活支援センターあさやけ二十周年を迎えて

所長 伊藤 善尚

平成十年十月、社会福祉法人ときわ会が運営主体で、地域生活支援センターあさやけが、あさやけ第二作業所の二階に開設をしました。それまで法人内の施設では、働くことや住まいのこと等、豊かな地域生活を目指した活動をしてきました。この活動をさらに多くの方に広げていきたいと、行政や障害者団体、施設、家族会、医療機関等と話し合いを重ねて地域生活支援センターを開設しました。「相談して良かった」「交流室も楽しい」という利用者の声を、一人でも多く聞けるような活動を心掛けてきました。

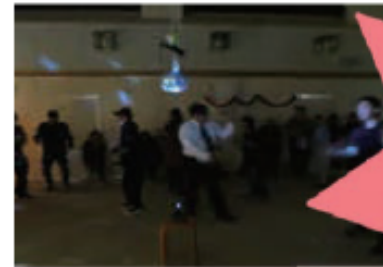
開設五年目には、元小学校の建物を活用した複合施設「小平元気村おがわ東」内に移転をしました。以前よりも広い場所になったことや公的な施設でもあることから、利用者は年々増えてきました。また、館内にはシルバー人材センターや子ども家庭支援センター、教育相談室、市民活動支援センター、障害者通所事業所等もあり、お互いに協力や連携をしてきました。二〇〇六年からは障害者自立支援法に変わり、精神障害者に保証人協会の紹介等、障害者居住支援事業の業務も委託を受けるようになりました。

この二十周年に、五〇〇名の登録者があり、日常も多くの方に交流室の利用や電話、面接の相談等を利用していただけてきました。これからも地域で「自分らしい生活」を応援していきたいと思えます。

い方に保証人協会の紹介等、障害者居住支援事業の業務も委託を受けるようになりました。

この二十周年に、五〇〇名の登録者があり、日常も多くの方に交流室の利用や電話、面接の相談等を利用していただけてきました。これからも地域で「自分らしい生活」を応援していきたいと思えます。

ホーム、ホームヘルパー等の障害福祉サービスを利用する方にサービス等利用計画の作成をする業務も始まりました。また、病院から退院をしていく方や親元から離れて生活をするときに不動産屋の紹介や保証人がいない



地域生活支援センターあさやけ
20周年を迎えました!



地域生活支援センターあさやけは今年で20年目を迎え、これを記念して11月23日に20周年記念会を開催しました。記念会は20年間のスライドショーをはじめ、メンバーの一発芸、ディスコタイムと大合唱、手作りのミラーボール、手形の合同作品等、企画盛りだくさんなどとも充実した時間になりました。

この20年間に500名の登録者があり、日常も多くの方に交流室、電話や面接相談等を利用して頂いてきました。これからも、地域で「自分らしい生活」を応援していきたいと思ひます。



地域生活支援センター二十年のあしあと

- 一九九八年 十月 あさやけ第二作業所(小川町二丁目)の二階に開設
- 一九九九年 一月 ボランティアの協力により初の新年会開催
- 二〇〇一年 三月 機関紙「風」発行
- 二〇〇二年 四月 小平市より精神障害者の一般相談を委託。
- 三周年記念誌「風のささやき」発行
- 支援センター主催 市民講演会「心の病って何」開催
- 開設当初からの非常勤当事者職員の内関保雄さん死去
- 小平元氣村おがわ東(小川東町四丁目)へ移転
- 二〇〇四年 一月 萩山夏祭りに初出店
- 二〇〇五年 七月 支援センターあさやけ内に精神保健福祉情報コーナー開設
- 二〇〇六年 一月 障害者自立支援法へ移行(相談支援事業・地域活動支援センター事業を小平市より受託)
- 二〇〇七年 十月 厚生労働大臣精神保健福祉功労賞受賞(伊藤)
- 二〇〇八年 七月 十周年記念企画 精神保健福祉市民講演会「ようこそ!!精神科へ」開催(元氣村)
- 二〇〇九年 三月 十周年記念イベント開催(元氣村)十周年記念誌発行
- 二〇〇九年 六月 「交流室で守る十か条」を策定
- 二〇一〇年 九月 センターあさやけ開設以来毎週開催してきた夕食会を終了
- 二〇一一年 三月 「これで安心 一人暮らしのコツ」発行
- 二〇一二年 七月 指定特定相談支援事業受託(サービス等利用計画)
- 二〇一三年 一月 サービス等利用計画本格的に計画作り始まる
- 二〇一四年 一月 指定一般相談支援事業受託(地域移行支援、地域定着支援)
- 二〇一四年 十月 十五周年記念茶話会開催
- 二〇一七年 五月 ピアカウンセリング講座にメンバーと職員が参加
- 二〇一七年 五月 アメリカアルバーノ大学生来訪交流会開催
- 二〇一八年十一月 ピアサポートなかま会を定期プログラムに
- 二十周年記念会開催

「私宅監置と日本の精神医療史展」と
「夜明け前～呉秀三と無名の精神障害者の100年～」の上映会を開催

12月7日～9日の3日間、小平市精神障がい者理解促進研修・啓発事業として「私宅監置と日本の精神医療史展」を開催しました。3日間を通してのべ300名以上と多くの方にご来場いただきました。パネルや写真展示以外にも日本精神医学資料館（都立松沢病院）の協力のもと保護衣（抑制衣）や灌水籠、手かせ・足かせなど過去の精神科病院で実際に使用されていた物品の展示も行いました。普段なかなか見ることのできない物に衝撃を受けた方も多くいらっしゃったのではないのでしょうか。9日午後には2回にわたって橋本明氏によるギャラリートークを開催し、2回合わせて50名以上の方にご参加いただきました。橋本氏からはパネルの詳しい説明に加え、当時の私宅監置の様子や沖縄の座敷牢を視察した際の様子や思いをお話していただきました。フロアからは私宅監置制度についての質問や感想が飛び交いました。

また12月9日には、「夜明け前～呉秀三と無名の精神障害者の100年～」の上映会と精神科医・岡田靖雄氏によるトークショーを開催しました。上映会には一般市民の方も含め約250名と多くの方のご参加で大盛況となりました。映画を鑑賞した方からは、「この国に生まれたるの不幸」という言葉の重さを感じたことや、これから私たちに何ができるのか考えさせられたという声が多く寄せられました。岡田氏のトークショーでは、日本の精神医療史のお話を呉秀三先生のエピソードを交えてわかりやすくお話していただきました。



ギャラリートーク

熱心に展示を見る来場者



2018年社会福祉法人ときわ会実践交流会の報告

日時・会場：12月8日 小平元気村おがわ東
午前／講演：考えあおう！語りあおう！～「人権」「障害」・・・「性」
講師 日暮かをる氏（障害児学校元教員、人間と性研究協議会障害児者サークル世話人）
午後／報告：権利擁護委員会の取り組み あさやけ風の作業所
事例にそってのグループワーク

講演を聞いての感想

長きにわたり障害のある子供たちの性教育に携わってこられた、日暮先生と永野先生から、情熱に溢れた貴重な実践の数々をお話頂きました。性教育を通して子供たちと本気でぶつかり、とことん人と人が関わり合い、通じ合い、目の前の子どもたちが輝けるような愛を感じる支援の実践で、お話を聞く中で反省や今後生かしていきたいことなど、気づかされることが多くありました。

日暮先生から、性にかかわる3大困りごとの1つ、「性教育は、いつから誰が？」という問いに対して、「生まれた時から、あたりまえのこととして大人がやる」というお話を頂きました。確かに、本当は性とは私たちにとって一番身近なことなのに、大人がそれを避けてしまっている現実があるように感じます。性を知ることによって、たくさんの学びがあり、人として成長していく糧となっていくと思いますが、反対に性についての知識が不十分であれば、適切な対応がわからなかったり、本人の戸惑いは大きいものになると感じました。性はデリケートな話題だという認識はもったままですが、秘めたり隠したりするのではなく、肯定的に前向きに明るく捉えていけるものであると気づかされました。

また、自分の体について正しい知識をもつことで、性を知り、楽しみ、喜びを感じることができ、それは平等でなければいけないという永野先生のお話を聞き、人の営みはあたりまえであるということ振り返ることができました。衣・食・住と同じく、人の営みには性があり、それは誰もが豊かに育てていくものだと思ふことができました。

サングリーン 林 恭平

日暮氏の講演は、思春期・青年期を主対象にした性教育のお話でした。成人期の方が多く、教えることが生業ではないときわ会とは問題との向き合い方が少し違いますが、現在ときわ会に通う方たちが、どのような歴史、生活を持ち成長してきたのかを全く知らない私が、そのことに少し触れられるようでもあり、示唆に富んだ内容の講演でした。また日暮氏のお人柄から生まれる障害のある人との接し方など事例をいくつもあげて話していただき、色々なことを学ばせていただきました。

ときわ会においては、性教育そのものをいかに教えるかということよりも、自分で何かを学ぼうとし、自分で問題を解決しようとする姿勢を持てることのほうがより大切なことではないかと思ひます。現在あさやけに通う方たちには、あさやけを踏み台にしながら、地域社会の中へ、外の世界へ出て、問題に直面し、問題を発見し、その問題を抱えながら、あさやけに通ってほしいと思ひました。

共同ホームはやぶさ 中川真穂

今年も毎月の廃品回収にご協力ありがとうございました!

～年間の回収量は131トン(2017年12月～2018年11月)でした～

2018年資源回収回収量

単位/kg

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	合計
新聞紙	9,115	8,870	7,450	8,415	8,820	7,200	6,570	9,710	10,300	9,625	7,510	93,585
雑誌	2,470	2,830	2,240	2,860	2,870	2,120	2,150	2,960	3,400	3,440	2,320	29,660
段ボール	760	740	460	660	710	730	630	760	920	820	620	7,810
ウェス	68	35	20	15	55	60	13	60	18	95	120	559
合計	12,413	12,475	10,170	11,950	12,455	10,110	9,363	13,490	14,638	13,980	10,570	131,614

※年間回収量は2017年より2トンの減でした。

※廃品回収は、毎月第三土曜日(8月はお休み)に行っています。回収品目は新聞紙、ダンボール、雑誌、ウェスです。

☆コダイラブランド☆ あさやけの染め・織り

同じものはひとつもない… 手織りマフラー

ウール100%
植物染料で染めた糸を使用
17cm × 180cm

価格：5000円



あさやけ鷹の台作業所 042-346-2167 ブログ: <https://blogs.yahoo.co.jp/takanodaiasayake>

廃品回収のお知らせ

11月の廃品回収の回収量は10,570kgでした。内訳は新聞7,510kg、雑誌・ダンボール3,060kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて191,470円でした。

次回は1月19日(土)が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。